

□議員名：新市民クラブ 矢田松夫

1 市長の政治方針について

論点	選挙公約がどのように施政方針に反映されているのか。
回答	5つの街づくりについて施政方針の中で明らかにしている。継続的な事業が中心になっており、市長自身の思いが決して反映されているとは思っていないので、引き続き市民の意見等をしっかり聞いて市民サービスの向上に努めていきたい。

論点	市長は市政の中でリーダーシップをどのように発揮していくのか。
回答	リーダーとしての経営感覚、バランス感覚など民間企業で培ってきた経験を生かし発揮していきたい。情報収集と課題を的確に捉え、かつ費用対効果や利活用の程度などを十分踏まえた上で、改革が必要とあればスピード感をもって行政の先頭に立って行く。

2 合併12年の現状について

論点	何をもって市政の向上が図られ好機到来なのか。
回答	理科大薬学部建設やレノファ山口クラブハウス機能、子育て総合支援センターの整備等を行うことが市政の向上になっており、この機を迎えたのが好機である。今後はこれらの資源の利活用を図っていくことが市民サービスの向上、交流人口の増加となる。

論点	山口東京理科大学周辺の環境整備について、学生や教職員の増加が予想されるため、早急に改善を図るべきだ。
回答	JR 小野田線雀田駅のトイレの改善について、昨年から JR 西日本に要望を出しているが、列車の増便も含め改善の見込みがない。今後、商工会議所、理科大と連携をとりながら通勤通学環境の改善に向けて努力をしたい。

論点	今以上の良いチームをつくるということは、ただ働きや非正規職員の増大等、現状の悪しき実態を改善すべきではないか。
回答	時代に即応して、機能的に動け市民にわかりやすいことを前提として組織づくりを行っていく。就業に係る条件がいい事がすべてではない。結果を出し達成感を味わうことがよいチームだ。

